

第2回光明小学校区教育環境適正化検討委員会

日時：令和6年(2024年)12月3日(火)

8:45～9:30

場所：光明小学校4階 多目的室

1 前回会議の議事録の確認

2 意見の取りまとめ結果について

3 今後のスケジュール(案)

- ① 12月24日 宝塚市教育環境審議会に諮問
- ② 12月25日 光明小学校6年生を対象に就学学校変更の案内を送付

4 参考

- ① 1月22日 高司中学校入学説明会
- ② 1月23日 宝塚第一中学校入学説明会

光明小学校から進学する中学校についての意見取りまとめ結果について

1 はじめに

(1) これまでの経過

光明小学校から進学する中学校については、一部地域のみが別の学校に進学するという課題があった。そのような中、一部の児童や保護者からは、みんなで同じ中学校に進学したいや近くの高司中学校に進学したいとの意見がPTAに寄せられ、PTA主体でアンケート調査を実施したところ、そういった意見が一定数あることが確認された。

教育委員会においても、義務教育9年間の連続した教育課程の編成を可能とする小中一貫教育の導入を見据えて、全市的に小・中学校間の通学区域の整合の取組を進めていることから、光明小学校においても進学する中学校について検討を進めるため、地域や保護者に対して意見聴取の機会を設け、検討を始めたところである。

そして、この課題に関して、光明小学校区教育環境適正化検討委員会を設け、地域や保護者、関係団体、学校関係者が一堂に会して意見交換を行い、最終的に地域としての意見を取りまとめていく。

(2) 意見聴取について(個々の意見は別紙参照)

① 光明小学校 PTA が実施したアンケート(令和5年10月から11月頃に実施)

② 教育環境整備課が実施した説明会等

i) PTA、保護者 5月14日、5月29日、9月3日、10月1日

ii) 地域住民(未就学児世帯含む) 6月15日、9月1日、9月25日、10月6日

iii) 光明小学校区教育環境適正化検討委員会 11月5日

2 意見の取りまとめ結果

① みんな同じ中学校への就学を希望する。

② 距離的に近い高司中学校への就学を希望する。

③ 宝塚第一中学校への就学を希望して宝塚第一中学校区に居住した世帯もいることから一定配慮が必要である。

3 今後について

地域の意見として取りまとめたものを踏まえて、教育環境審議会への諮問書を作成し、教育環境審議会から答申を受ける。いただいた答申に基づいて、教育委員会に諮り、光明小学校から進学する中学校の在り方について決定をする。

(別紙)

【これまでいただいたご意見(抜粋)】

(1) PTA 実施アンケート(1回目)

- ① 宝塚第一中まで距離が遠く、事故や熱中症など、子どもの通学が心配。
- ② 校区を考えて家を買った(転居してきた)ので、宝塚第一中校区は変えないでほしい。
- ③ 通学距離のことを考えると、高司中がよいが、宝塚第一中を望む家庭もあるので、選択制が良いかもしれない。
- ④ 選択制になると兄弟が別々の学校に就学する可能性もあり、家庭の負担が増えるほか、家庭で進学する中学校を決めても友達の大半が別の中学校を選択すると、自分の子どもだけ違う学校を選択させるのは難しいので、選択制は反対。
- ⑤ 高司中の方が近いから高司中に通わせたい。
- ⑥ 児童数が少なく6年間同じクラスであるため、みんな同じ学校に通わせてあげたい。
- ⑦ 少人数にも関わらずさらに2校に分かれて進学することになるため、不登校になる子ども多いと聞いている。一緒の中学校に進学できたらと思う。

(2) PTA 実施アンケート(2回目)

- ① 高司中の方が近く、子ども達の登下校を見守ることができ、親もすぐに学校に駆け付けることができるので、高司中を希望するが、宝塚第一中と校風が異なるので、選択制がよい。
- ② 校区を調べて家を購入したため、現状維持を希望。この話題には触れないでもらいたい。
- ③ 校区を選んで住宅を購入した保護者の意向も分かるが、学校に通うのは子どもであり、子どもの利益が最優先されるべきと思い、1つの中学校校区を希望する。
- ④ 校区を一つにすることは賛成だが、校区を考えて引っ越してきた世帯もあることから、もう少し考える時間がほしい。
- ⑤ 1学年に1クラスの人数しかいない現状を鑑みると、子どもたちのためには中学校校区は1つにした方がよいと思うが、家庭によって様々な事情があることを考えると、最終的に中学校校区を1つにすることを周知した上で、しばらくは選択制とした方がよいと思う。
- ⑥ 何年間かは選択制にし、その後どちらか1校にするのはどうか。同じ学校に行かせたいという気持ちはあるので現状維持だけは反対。

(3) PTA、保護者からの意見

- ① 校区を考えて引っ越してきたにも関わらず、経過措置の期間に該当しなかった場合の対応や補償はどうなるのか。
- ② 現中学1・2年生で学校の選択を希望する方も対象としてよいのではないか。
- ③ 進学先を検討する上で、オープンスクールの情報や学校の情報、進学実績等を提示して欲しい。
- ④ 令和7年度から実施する場合、今の6年生に対してどのようなフォローをしてもらえるのか。また、毎年、児童がどちらの学校に進学したかの情報を提示して欲しい。

(4) 地域住民（未就学児世帯含む）からの意見

- ① 経過措置の期間はいつまでか。年内に生まれた子も経過措置の対象にして欲しい。
- ② 光明小学校が近くの小学校と統合した場合は、経過措置はどうなるのか。
- ③ 高司中学校ではなく、宝塚第一中学校に進学することにしても良かったと思う。
- ④ 高司中学校の魅力向上に努めて欲しい。
- ⑤ 福井町に住む子も中学校を選択できるようにして欲しい。

(5) 光明小学校区教育環境適正化検討委員会が出た意見

- ① 光明小学校から高司中学校に進学することは賛成だが、宝塚第一中学校への進学を希望する場合は、小学校の段階から良元小学校を選択できるようにしてはどうか。
- ② 過去にあった出来事から高司中学校への進学に不安がある。学校の校風や現状の取組等の情報発信に努めているか。
- ③ 進学する中学校を選択するにあたり、進学率等、参考となる情報を提示して欲しい。
- ④ 経過措置の期間について、特に終期を設ける必要はないのでは。